

平成30年（2018）6月13日～15日

平成30年度（2018）

第1回出雲市議会(定例会)
一般質問通告一覧表

平成30年度（2018）第1回出雲市議会（定例会）
一般質問通告一覧表 目次

6月13日（水） 10:00 開会			6月14日（木） 10:00 開会			6月15日（金） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	錦 織 稔	3	1	伊 藤 繁 満	11	1	玉 木 満	19
2	川 光 秀 昭	4	2	岸 道 三	12	2	西 村 亮	20
3	勝 部 順 子	5	3	湯 淺 啓 史	13	3	寺 本 淳 一	21
4	今 岡 真 治	6	4	後 藤 由 美	14 ～ 15	4	原 正 雄	22
5	福 島 孝 雄	7	5	児 玉 俊 雄	16	5	神 門 至	23 ～ 24
6	大 場 利 信	8	6	山 内 英 司	17	6	本 田 一 勇	25
7	大 谷 良 治	9	7	板 倉 一 郎	18			
8	保 科 孝 充	10						

質問者	7 錦 織 稔		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 学校図書館について		教育部長	
① 学校図書館の現状について伺う ア 学校図書館の現状の認識 イ 読書ヘルパー配置の成果 ウ 司書教諭、学校司書の配置 エ 今後の配置計画と募集計画 ② 中学校の学校司書について伺う ア 学校司書の必要性の認識 イ モデル校を指定し検証			
(2) 感染症対策事業について		健康福祉 部長	
① 子どもの予防接種の推進について ア 接種率を高めるための体制 イ ワクチン再接種の助成 ② 高齢者の予防接種の推進について ア 近年の接種率の推移 イ 予防接種率向上のための取り組み			

質問者	5 川 光 秀 昭	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者
(1) 新体育館の建設場所の決定と施設の運用について		
<p>① 平成29年度第5回定例会の文教厚生委員会で新体育館建設の検討状況についての報告がありました。一昨年3月議会、昨年9月議会に中間報告が行われ、第3回報告として新体育館建設候補地比較検討資料収集業務により得られたデータを踏まえ、建設候補地の中から最適地が決定されました。体育館建設候補地に係る、これまでの経過や現在の進捗状況などについて質問します。</p> <p>ア 5か所の建設候補地の選定方法</p> <p>イ 最適地を決定した手順</p> <p>ウ 新体育館建設庁内検討委員会（以下、検討委員会）での議論の主な内容</p> <p>エ 新体育館建設候補地比較検討資料収集業務で収集された全データの公開</p> <p>オ 用地交渉の状況等、検討委員会での検討の現在の進捗状況</p> <p>② 体育館のような公共施設では、スポーツやコンベンション機能ばかりでなく災害時への対応が不可欠であろうと考えられます。議会や委員会での答弁から、出雲市も同様の意見であろうことは見て取ることが出来ます。そこで、新体育館の機能や運用について質問します。</p> <p>ア 議会で最適候補地の決定が発表される前に報道された新聞記事の見解</p> <p>イ 災害時の新体育館の役割</p> <p>ウ 新体育館の機能や運用の検討の進捗状況及び今後の予定</p>		市民文化 部長
(2) 高齢者の障がい福祉サービスから介護保険の利用への移行について		
<p>① 障害者総合支援法（以下、支援法）に基づく給付は、65歳になると同様のサービスが提供される場合は、原則として介護保険が優先される。一般的に同様の介護サービスであれば、介護保険の対象となった時点で自己負担は増加する。障がい福祉サービスから介護保険に移行する場合には、利用者の十分な理解が不可欠である。また、個別の事例に応じては支援法のサービスが継続できるような仕組みも必要である。岡山市は支援法の給付を打ち切った事に対して賠償を命じられているが、特に出雲市では「出雲市福祉のまちづくり条例」が制定されており、65歳に達した高齢者が障がいの有無にかかわらずスムーズに介護保険が利用できなければならない。そこで、障がい福祉サービスから介護保険への移行に関して質問します。</p> <p>ア 支援法に基づく福祉サービスから介護保険に移行する高齢者の人数</p> <p>イ 上記の高齢者への特別処置の有無と内容および担当部署</p>		健康福祉 部長

質問者	29 勝部 順子		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 少子高齢化に対応できる、交通政策の取り組みについて		総合政策 部長	
① 福祉バスの現状と拡充 ② 運転免許証自主返納の支援の拡充			
(2) 企業主導型保育事業の現状と、更なる拡充について		子ども 未来部長	
① 市内の企業の、企業主導型保育事業の設置の状況 ② 更なる拡充の動きがあるのか、現状を伺います。			

質問者	1 今岡真治		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 定住とU I ターンを促進する支援事業について			
<p>① 出雲市では、平成27年10月に策定された、「出雲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、人口減少対策、地域活性化の取組を推進しておられます。その中で、「出雲との縁をつなぎ、ひとの流れをつくる」との基本目標のもと、定住と移住を促進する施策を実施しておられるが、現状とその成果について伺う。</p> <p>ア 現在行っている事業。</p> <p>イ その成果。</p> <p>ウ 工芸作家等のU I ターンに対して、どのような支援事業があるのか。</p> <p>② 多くの自治体が「総合戦略」をはじめ、人口減少対策に取り組んでいるなか、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わってくれる「関係人口」が注目されている。移住にもつながる関係人口を増やす取り組みについて伺う。</p> <p>ア 出雲市における「関係人口」を創出する取り組みについて伺う。</p> <p>イ 「関係人口」を創出する施策の1つとして、テレワークがあるが市の考えを伺う。</p>		市長	

質問者	15 福島孝雄		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 高齢者の生きがいつくりの推進について		市長	
<p>① 健康づくりを考える事業・講座の成果について</p> <p>ア 高齢者の居場所づくり・外出機会の確保の実態を伺う。</p> <p>イ 各種健康講座での男性高齢者の参加状況と参加促進策を伺う。</p> <p>② 高齢者が集う施設的环境について</p> <p>ア 洋式トイレの設置状況。</p> <p>イ 男性トイレの汚物入れ配置状況。</p>			
(2) 災害時の民生委員・児童委員協議会の役割について		市長	
<p>① 避難行動支援等の関係者としての民生委員・児童委員協議会の役割と行動について伺う。</p> <p>ア 避難行動要支援者名簿の取り扱いについて。</p> <p>イ 民生委員1人あたりが担う要支援者の平均人数。</p> <p>ウ 災害時に於ける、民生委員の行動及び、要支援者への避難誘導と避難場所（避難所開設前）について。</p> <p>エ 災害時での要支援者の具体的行動マニュアルの有無。</p>			
(3) 改正農業経営基盤強化促進法・改正農地法について		農林水産 部長	
<p>① 出雲市における相続未登記農地の割合を伺う。</p> <p>② その内、集積に影響が出ている農地の面積を伺う。</p> <p>③ 出雲市での農業用施設の全面コンクリート張り対象施設の数を伺う。</p> <p>④ 改正法施行による、市として今後の利用促進の考えを伺う。</p>			

質問者	18 大場利信	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者
(1) 出雲市立小中学校教職員の「人事権の移譲」について		
<p>① 松江市は中核市への移行に併せ、任命権者である県教育委員会から市立小中学校教職員の人事権の移譲を求めており、教育水準の全県的な維持の観点から県内の市町村に波紋を広げています。一方、出雲市も昨年7月の県への重点要望で「人事権の移譲」について要望を行いました。これについて、本市の教育関係者や学校運営理事会にも波紋を広げております。重点要望時から状況の変化もありますが、それを踏まえた答弁を求めます。</p> <p>ア 松江市の人事権の移譲の要求についてどのような見解か伺います。</p> <p>イ 県教育委員会の広域的人事異動ルールが果たしているあるいは果たしてきた効果についてどのような見解をお持ちか伺います。</p> <p>ウ 一方、現在の広域的人事異動ルール（・同一校連続7年・同一市町村連続15年）の機械的な適用が、地域への帰属意識が持ちにくく、出雲市の教育の振興上大きな問題となっていると認識されておられますが、具体的にどのような分野についてそう考えておられるか伺います。</p> <p>エ 同様に、採用に関し市の裁量で行うことの必要性にも言及しておられますが、具体的にどのような分野を考慮しておられるか伺います。</p> <p>オ 市の教職員は県費負担教職員と言われ、給与費の2分の1は国、あとの2分の1は県が負担することとされていますが、人事権の移譲となれば、県負担分を市が負担することとなりますが、これの見解を伺います。</p> <p>カ 出雲市の教育の振興のため、人事権の移譲よりも広域的人事異動ルールの柔軟な運用を県教育委員会に求めることが得策と考えますが、見解を伺います。</p>		教育長
(2) 中高年の予防・健康づくり対策としてのデータヘルスについて		
<p>① 少子化が進み、生産年齢人口はますます減少の一途をたどると予測されます。生産の補充人材として注目されているのが「高齢者」と外国人といわれています。65歳以上の高齢者は地域や産業を支える人材として、予防・健康づくり対策が求められております。ここでは範囲を広げ、中高年のデータヘルス計画による健康増進、生活習慣病予防・重症化予防の事業について伺います。</p> <p>ア データヘルス計画について</p> <p> a データヘルスとは</p> <p> b 出雲市における新しいデータヘルス計画および特定健診実施計画の主な事業内容について</p> <p> c データからの対象者の選定およびその後の対策について</p> <p>イ 中高年の生活習慣病データの捕捉とその活用について</p>		健康福祉 部長

質問者	9 大谷良治		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 災害時における要配慮者対策		防災安全 担当部長	
① 災害弱者への対応について ア 基本的方針 イ 災害が起きた時の福祉避難所の開設手順 ウ 開設後の介護用品や衛生用品、物資、機材の確保など 運用方針について エ 避難行動要支援者名簿の取り組み状況			
(2) ものづくり産業における人材育成について		経済環境 部長	
① 人材（技能）育成と高度化にむけた施策について ア 技能・知識習得・新技術開発支援など技術高度化に向 けた取り組み ② 女性技能者の育成支援の現状と今後の方針			

質問者	20 保科孝充	答 弁 を 求 め る 者	記 事
質問事項・質問内容			
(1) 斐川工業団地周辺対策に係る検討状況を伺う			
<p>① 3月23日に開催された議会全員協議会において「斐川工業団地周辺対策に係る検討状況について」報告がありました。道路整備・交通安全対策を中心に、総合的な検討を進めるとされていますが、今後の具体的な計画について伺います。</p> <p>ア 人口・通行車両の増加は、児童生徒の通学路等にも大きく影響するが、プロジェクト会議の構成メンバーに教育関係者を加えるべきではないか。</p> <p>イ 早急に実施する対策は短期事業、それ以外を中期事業、長期事業としているが、具体的にどのような事業が短期、中期、長期に該当するのか。</p> <p>ウ 周辺企業の工場増築、従業員増員が計画されている。現状と予定は。</p> <p> a 企業の現在の従業員数</p> <p> b 増築予定地と規模</p> <p> c 増築年度</p> <p> d 増員人数</p> <p>エ 交通量が益々増加する中、南北に通じる道路、そして山間部を通る旧南部大型農道の整備はどのように考えているか。</p> <p>オ 民間の、主として宅地開発のスピードは行政が考えている以上に、広くて、早い。現地の状況把握と今後の影響は検討しているか。</p>		市長	
(2) 消防団員の入団・確保状況を伺う			
<p>① 消防団員は「自らの地域は、自らで守る」という崇高な郷土愛の精神に基づいて活動をされています。身近な場所で発生する火災をはじめとして、風水害・地震災害への対応、地域住民の避難誘導・救助活動など地域防災の中心的な役割を果たしています。全国的にも、また出雲市においても消防団員の確保が喫緊の課題ですが、最近の状況を伺います。</p> <p>ア 出雲市消防団員の平均勤続年数と平均年齢</p> <p>イ 入団加入への呼びかけの実態</p> <p>ウ 企業等による消防団支援体制</p> <p>エ 女性消防団員数と活動状況</p> <p>オ 学生ボランティアサポート隊員数と活動状況</p> <p>カ 団員確保へ向けて今後の対応</p>		市長	

質問者	19 伊藤繁満		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 安全、安心なまちづくりの防犯対策について伺う			
<p>① 出雲市まち・ひと・しごと創生総合戦略には基本目標の中で住みやすさNo. 1のまちづくりを行い、安全、安心なまちづくりをめざすこととしています。</p> <p>その計画の内容は地域防災計画、消防防災、原子力災害対応、治山・治水、学校施設の耐震、文化スポーツ施設の機能分担等のいわゆるハードな部門に傾斜されており防犯対策には何ら触れていません。</p> <p>昨今、全国的には痛ましい事件が発生しています。報道されている事件は氷山の一角で潜在的には多くの事件が発生しているといわれています。安全、安心のまちづくりを目指すうえでは防犯対策の重要性が課題となっています。</p> <p>ア 防犯カメラは犯罪の抑止効果として有効であるといわれていますが、出雲市管理分152台について統一性がないように思うが設置基準を含め考え方について伺います。</p> <p>イ 出雲地区防犯協会が関与されている街頭防犯カメラの設置状況はそれぞれの地域事情により要望され各種団体等からの助成により設置されているが、旧市町別一覧表ではゼロの所もあり取り組みに大きく差異があるのはなぜか伺います。</p> <p>ウ 市内小中高校及びその周辺に防犯カメラが設置されていない学校はあるか伺います。</p> <p>エ 通学路での事件が他県で発生し報道されているが、市内全域において総点検を行い少なくとも自宅に帰るまでに最低でも一度は防犯カメラに映るような状況が必要ではないか伺います。</p>		市長	

質問者	10 岸 道 三		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求める者	記 事
(1) 子どもの貧困対策について		市長	
① 出雲市における子どもの貧困の現状と課題 ② 生活困窮者自立支援制度の評価 ③ 貧困対策を含め、子どもの総合的支援を盛り込んだ条例制定の必要性			
(2) 臨時・非常勤職員の会計年度任用職員への移行について		市長	
① 現在の臨時・非常勤職員の総数 ② 職の整理と再設定における検討状況と考え方 ③ 今後のスケジュール（条例、規則等の制定・改正および対象者への説明など）			

質問者	11 湯浅啓史	答弁を 求める者	記事
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 「統一的な基準による地方公会計」に基づく財務諸表の公表について		市長	
<p>① 統一的な基準による地方公会計の整備が進められ、出雲市においても固定資産台帳の整備や財務諸表の作成が行われた</p> <p>ア 平成28年度決算分財務諸表の公表時期と内容</p> <p>イ 簡易解説版または要約版などの作成および配布を考慮するのか</p> <p>ウ 平成29年度決算認定時の財務諸表の取り扱い</p> <p>エ 新基準による財務諸表によって見えてくるものは何と考えるのか</p>			
(2) 中期財政計画策定について		市長	
<p>① 本年度（平成30年度）は平成28年度から平成30年度までの中期財政計画の期間最終年度であり、平成31年度から平成33年度までの中期財政計画を策定する予定となっている</p> <p>平成26年度から平成28年度までの行財政改革の集中改革期間を経て、出雲市の財政状況は健全化の方向へ進み、財政の健全化判定する指標となる、実質公債費比率、将来負担比率の改善や地方債残高の圧縮など計画値を越えて改善されている</p> <p>ア 現在の財政状況をどう判断するか 財政の健全化の判定指標、地方債残高</p> <p>イ 計画を上回る改善が達成できた主な要因は何か</p> <p>ウ 今年度策定される中期財政計画では、健全化判定比率の改善や地方債残高圧縮のペースが維持できるのか</p> <p>エ 平成28年3月に公表された出雲市公共施設総合管理計画では、1年当たりの公共施設の大規模改修、建替、更新費用の総額を約205億円と見積もっているが、この見積もりを基本的に踏襲する考えか</p> <p>オ 人口予測は「出雲市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定時の人口推計と目標値を踏襲するのか</p> <p>カ 常態化している臨時財政対策債の発行が将来の財政運営にもたらす影響は何か</p>			
(3) 出雲市空家実態アンケート調査結果について		市長	
<p>① 平成29年10月に実施された空家実態アンケート調査の結果から、次のことを伺う</p> <p>ア 送付先不明となった理由</p> <p>イ 送付不能（郵便局から返送）分の今後の処理</p> <p>ウ 空き家調査時には「空き家」との認識であったが、今回のアンケートで「空き家ではない」との回答と得た事例について、その数と、その理由</p> <p>エ 管理委託や空き家バンクへの登録など、活用へ前向きな回答数</p>			

質問者	4 後藤由美			
質問事項・質問内容			答弁を 求める者	記事
(1) 東京電力福島原発事故をうけてのエネルギー政策について				
<p>① 福島原発事故から7年が経過しましたが、事故を起こした福島第1原発ではいまもトラブルが続いており、事故収束に向けた汚染水・廃炉対策も困難になっています。原発避難者はいまだ約5万人で、うち18歳未満の子どもは約1万9千人です。</p> <p>そんな中、国は中長期的なエネルギー政策の方向性を示す「第5次エネルギー基本計画」案をまとめました。計画案は、原発ゼロを求める国民多数の願いからかけ離れた、原発推進路線に固執しています。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>ア 福島原発事故の体験は、原発と人類が共存できないことを示しています。「原発安全神話」は完全に崩壊し、再稼働反対が国民多数の世論となっています。この現状に対する市長の所見を伺います。</p> <p>イ 国は原発にしがみついています。「第5次エネルギー基本計画」案では原発を「重要なベースロード電源」と位置づけ、2030年度の全電源に占める原発の比率を20～22%にしており、極めて重大です。国民の願いに逆らう計画案は根本から改めるべきと考えますが、市長の所見を伺います。</p> <p>ウ 原発を動かせば出てくる使用済み核燃料は、各原発と六ヶ所村再処理工場に貯蔵されています。あと6年もたてばあふれてしまい、置き場所がなくなります。再処理しても使う当てのないプルトニウムと、処分場の目途がない高レベル放射性廃棄物というやっかいなものを抱えるだけです。核燃料サイクルは完全に破綻しています。「即時原発ゼロ」の政治決断をおこない、再生可能エネルギーの大幅導入の推進が必要と考えますが、市長の所見を伺います。</p>			市長	
(2) 島根原発2号機再稼働、および3号機の新規稼働について				
<p>① 中国電力は5月22日出雲市に対して、島根原子力発電所3号機の新規制基準への適合性申請を行いたい旨について、報告しました。適合性申請は原発稼働への一歩であることは明白です。出雲市にとって、3号機新規稼働についての議論は初めてのことになります。</p> <p>そこで伺います。</p> <p>ア 「新規制基準」は福島原発事故の原因究明もないまま再稼働を急ぐために決定されたものです。重大事故対策でEU諸国の基準にはるかに及びません。過酷事故の発生や住民被ばくなど原発事故の発生を前提にしており、住民の避難計画は自治体任せという無責任なものです。市長はどう認識していますか。</p>				

<p>イ 中国電力は「3号機は信頼性、安全性がより向上した」「3号機は改良型」といいますが、専門家は危険性を指摘しています。電力需給の面でも足りており、実際原発なしでも暮らしています。市長の所見を伺います。</p> <p>ウ 中国電力は不正・不祥事続きで「原発運転の資格なし」「信用できない」という厳しい批判があります。市長の所見を伺います。</p> <p>エ 島根原発30キロ圏内に47万人が暮らしています。原発周辺には活断層があります。ひとたび事故が起きたときの避難計画とその実効性はどうなっているのでしょうか。</p> <p>オ 中国電力との立地自治体並の安全協定（立ち入り調査権や原子炉停止要求権）もありません。締結すべきですが、所見を伺います。</p> <p>カ 原発問題は市民の命と暮らしを守る上での大切な問題です。「原発に関する市民アンケート」をとり、住民の声を聞くべきだと考えます。市長の所見を伺います。</p>	<p>市長</p>	
<p>(3) 急がれる子育て支援について</p>		
<p>① 「子どもの医療費を中学校卒業まで無料にして。他の市と比べて遅れている。」と近年の議会討論や市民からの請願などが力となり、市民の世論が高まっています。また、保育園や児童クラブの待機児童問題も去年は深刻でした。一刻も早く改善をし、子育てに優しい出雲市にしなければなりません。そこで伺います。</p> <p>ア 子どもの医療費軽減は最も要望が強く、重要な子育て支援策です。一刻も早く拡充すべきですが、市長の決意を伺います。</p> <p>イ 4月現在の保育園待機児童数はどうでしょうか。いわゆる国の基準以外の、私的理由等で入れなかった数もお示しください。</p>	<p>市長</p>	

質問者	6 児 玉 俊 雄		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求める者	記 事
(1) 稗原ダムの多目的利活用について		市長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 稗原ダム湖水公園及び源氏ヶ池ふれあい広場の管理状況を伺う。 ② 稗原ダムを活用した小水力発電の検討状況を伺う。 ③ 稗原ダムの洪水調節機能に対する考え方を伺う。 ④ 今後の稗原ダムの多目的利活用について、市の考えを伺う。 			
(2) 学校再編について		教育長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 出雲市立小中学校再編方針に基づく、これまでの学校再編の評価と今後の見通しを伺う。 ② 地元了解が得られなかった学校、今度再編を検討する学校群などに対する今後の対応を伺う。 ③ 大規模校再編の考え方を伺う。 			

質問者	3	山内英司	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) ふるさと納税について		総合政策 部長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 2017年度の寄附件数及び寄附金額を伺う。 ② 返礼品の選定方法を伺う。 ③ ふるさと納税について、出雲市はどのように調査・研究をしているのか伺う。 ④ 今後の目標と課題について伺う。 			

質問者	24 板倉一郎		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 急増する外国籍住民への対応について			
<p>① 出雲市は、外国籍の住民が増えて、人口減少社会の中でも、県内で唯一人口が増える全国的にも注目される市となっています。出雲市は、多文化共生プランを策定し、その中で目標も設定し取り組みを実施されていますが、急増する外国籍住民への対応には、まだまだ課題があります。私は、その課題を解決し、全国に誇れる多文化共生社会を作り上げていかなければならないと考えます。</p> <p>そこで、次の点について、市長の考えを伺う。</p> <p>ア 市長の考える多文化共生の社会とはどのようなものか、また多文化共生プランの実施状況について伺う。</p> <p>イ 現在の外国籍の住民の在住の実態を伺う。現在の状況および今後の見通し、また将来出雲市で永住を考えている外国籍の住民の数について伺う。</p> <p>ウ 学校を通し、子どもたちの間では、交流が広がっていますが、残念ながら、地域の自治協会やコミュニティセンターを通しての交流活動は進んでいません。その点について、どう改善していくのか伺う。</p>		市長	
(2) 外国籍の子どもなどへの学習、進学、就労支援について			
<p>① 外国籍の子どものみなさんへの義務教育期間中の支援の体制について伺う。</p> <p>② 平成28年9月議会で質問した、塩冶小学校での教育環境の整備および、高校入試における特例措置の見直しの状況について伺う。</p> <p>③ 塩冶幼稚園へも日本語とポルトガル語がわかる支援員を配置する考えはないか伺う。</p> <p>④ 出雲市は、義務教育期間の支援は充実していると思っておりますが、義務教育の期間を過ぎた子どもたちや、家族として来日した大人の人たちなどへの、就労を含めた支援は、どのように考えているのか伺う。</p> <p>⑤ 塩冶小学校で増築される教室を、夜間には、日常生活や就労のための教育を行う場として活用する考えはないか伺う。また、県立東部高等技術校を活用することは出来ないか伺う。</p> <p>⑥ 義務教育を外れる部分は、NPO法人や大学、企業などと連携していかなければならないが、どのように考えているのか伺う。</p>		教育長	

質問者	2 玉 木 満	答 弁 を 求 め る 者	記 事
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容			
(1) 出雲休日・夜間診療所の状況について			
<p>① 出雲休日・夜間診療所の管理に関する事について</p> <p>ア 設置の経緯、変遷及び目的について</p> <p>イ 運営及び診療体制について</p> <p>ウ 出雲休日・夜間診療所の建物及び設備について</p> <p>エ 県内で類似する診療所との比較について</p> <p>② 出雲休日・夜間診療所の診療に関する事について</p> <p>ア 昨年度の利用者数及び利用者数の推移について</p> <p>イ 利用状況の特徴について（診療科別・利用者別など）</p> <p>ウ 感染症流行期など利用者増加時の対応について</p> <p>エ 他医療機関との連携について</p>		健康福祉 部長	

質問者	17	西村 亮		
質問事項・質問内容			答弁を 求める者	記事
(1) 地域振興と市道等の除草について			市長	
<p>① これまで道路、水路、法面等の除草については地域住民の皆様方の深いご理解により作業がなされておりましたが、高齢化により除草作業が年々厳しくなっており、市としての対応策が必要不可欠と思うが所見は。</p> <p>② 昨年までの助成は非常に安価で、チップソー、燃料等を考慮した場合、今後対応策が最重要課題と考えるが如何か伺う。</p>				
(2) 外洋、内水面の漁業振興策について			市長	
<p>① 前回質問した、今後充実した漁業振興策についてそれぞれ答弁頂きましたが、其の後、具体的に各どの様な点が改善、充実されたのか詳細に答弁下さい。</p> <p>② 今後、宍道湖の水草対策が最重要課題であり、宍道湖水環境改善協議会の協議、活動、又国への緊急中央要望等具体的な活動、取り組みを伺う。</p>				

質問者	13 寺本淳一		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 出雲市消防団火災出場について			
<p>① 平成30年1月1日から施行された「出雲市消防団火災出場規則」ですが、これまでの火災対応と比べ、火災の種類、出場区分、出場指令の発令であること、サービス違反による処罰等、細かく又厳しく事項が定められています。この規則制定についての見解を伺います。</p> <p>ア 火災出場においてこれまでの課題。</p> <p>イ 出雲市消防団火災出場規則制定の経緯と目的。</p> <p>ウ 消防団に対してのメリット、デメリット。</p> <p>エ 消防団員の活動抑制や意欲の低下につながるのでは。</p> <p>オ 常備消防と消防団の明確な役割の考え。</p> <p>カ 地元火災（その他火災）においても出場が制限される状況において、消防団に対しての地域の信頼性の低下（不満）をどう対処されていくのか。</p>		消防長	

質問者	16	原 正 雄	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 新体育館建設について		市長	
① 新体育館建設候補地の評価について ② 事業スケジュールについて			

質問者	1 2 神 門 至		答 弁 を 求 め る 者	記 事
質問事項・質問内容				
(1) 市内小学生の登下校の状況及び安全対策について		教育長		
<p>① 市内小学校の状況について</p> <p>ア 市内小学校の数は</p> <p>イ 市内小学生の児童数は</p> <p>ウ 登校児童数の人数は</p> <p> a 歩行の児童数</p> <p> b バスの児童数</p> <p>エ 下校児童数の人数は</p> <p> a 歩行の児童数</p> <p> b バスの児童数</p> <p>② 市内小学生の通学路について</p> <p>ア 通学路の決定は</p> <p>イ 通学路の危険個所は</p> <p>ウ 登下校の安全対策は</p> <p> ※防犯カメラの設置状況等もお示してください。</p> <p>③ 市内小学生の防犯ベルの状況について</p> <p>ア 価格は</p> <p>イ 費用負担は</p> <p>ウ 着用率の状況は</p> <p>エ 使用方法の徹底は</p> <p>オ 市民への周知は</p> <p>カ 効果(事例等)は</p>				
(2) 新出雲市体育館・建設候補地の選定経過について		市長		
<p>① これまでの建設候補地への対応について</p> <p>ア これまでの建設候補地は</p> <p>イ その建設候補地への説明等の状況(経過等)は</p> <p>② 最終の選定経過は</p> <p>ア 検討委員会のメンバーは</p> <p>イ その評価基準・評価項目等は</p> <p>ウ その結果の公表は</p> <p>③ 最終の建設予定地は</p> <p>ア 最終の建設予定地及び、その期待される効果は</p>				
(3) 市有財産における売却先の選定(審査)方法について				
① 合併後の市有財産の売却先について				

<p>ア 売却件数及び金額は</p> <p>イ その公募状況は</p> <p>② 売却先の選定(審査)方法について</p> <p>ア 県の選定(審査)方法は</p> <p>イ 県内8市の選定(審査)方法は</p> <p>ウ 市の選定(審査)方法は</p> <p>③ 選定委員会等の状況について</p> <p>ア 県の選定委員会等は</p> <p>イ 県内8市の選定委員会等は</p> <p>ウ 市の選定委員会は</p> <p>※いずれも、委員の人数・構成・任務・報酬等をお示し下さい。</p>	<p>市長</p>	
--	-----------	--

質問者	8 本 田 一 勇		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 島根県西部地震について		市長	
<ul style="list-style-type: none"> ① 出雲市内の被害状況について。 ② 発生からの情報伝達、被害調査はスムーズに行われたか。 ③ 避難指示は行われたか。 ④ 災害復旧の実施状況はどうなっているか。 ⑤ 発生から復旧までの間に、何か問題点はあったか。その対策はできたか伺います。 			